

特定の受信ルートのアドミニストレーティブディスタンスの設定

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[デフォルト動作](#)

[設定例](#)

概要

このドキュメントでは、特定の受信ルートのアドミニストレーティブディスタンス(AD)を変更する方法の設定例について説明します。

背景説明

ネットワーク設計で、低位のアドミニストレーティブディスタンス(AD)ルーティングパスよりも高いアドミニストレーティブディスタンス(AD)パスを選択する必要がある場合は、このドキュメントで説明する追加の設定を行う必要があります。示されているネットワークトポロジからわかるように、N9K2は、Open Shortest Path First(OSPF) (N9K3経由) およびEnhanced Interior Gateway Routing Protocol(EIGRP) (N9K1経由) から同じプレフィクス10.1.1.0/24を学習します。デフォルトでは、AD=110が低いため、N9K2はN9K3経由のプレフィクス10.1.1.0/24のOSPFパスをN9K4に優先します (外部EIGRP学習ルートAD = 170より優先)。N9K2がN9K3経由のOSPFパスではなくN9K1経由の外部EIGRPパスをネットワーク10.1.1.0/24に選択するには、テーブルマップを使用して、外部EIGRPが受信したルートのアドミニストレーティブディスタンスを110未満に下げることができます。この場合、Table-mapを使用して、EIGRPによって学習されたルートがRouting Information Base (RIB ; ルーティング情報ベース) に送信される前に、そのアドミニストレーティブディスタンスを変更します。

前提条件

Nexusオペレーティングシステム(NX-OS)とIPルーティングに関する基本的な知識。

要件

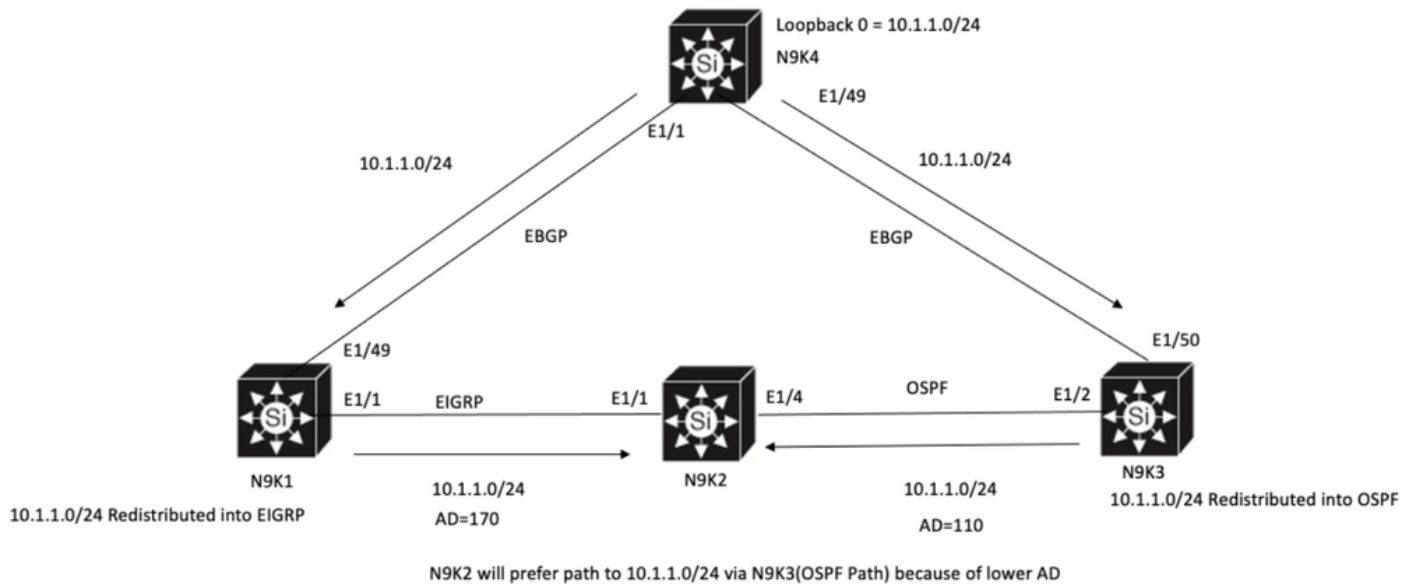
このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

ネットワーク図



デフォルト動作

Table-Mapを適用する前のN9K2でのshow IP Routeの出力は、E1/4を介したN9K3への下位ADに基づいてOSPFパスが選択されていることを示しています。

```
N9K2# show ip route 10.1.1.0
IP Route Table for VRF "default"
'*' denotes best ucast next-hop
'***' denotes best mcast next-hop
'[x/y]' denotes [preference/metric]
'%<string>' in via output denotes VRF <string>

10.1.1.0/24, ubest/mbest: 1/0
*via 10.10.10.6, Eth1/4, [110/1], 00:41:45, ospf-100, type-2, tag 200
via 10.10.10.1, Eth1/1, [170/2562816], 00:44:00, eigrp-100, external, tag 200
N9K2#
```

設定例

この設定例では、N9K2にOSPFパスではなくN9K1経由の外部EIGRPパスを選択させる方法を示します。

ステップ1:N9K2でプレフィクス(この例では10.1.1.0/24)と一致するプレフィックスリストを作成します。

```
N9K2# configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
N9K2(config)# ip prefix-list test seq 5 permit 10.1.1.0/24
```

```
N9K2(config)#
```

ステップ 2 : プレフィックスリストtestに一致するルートマップを作成し、距離を目的の値に設定します。

```
N9K2# configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
N9K2(config)# route-map test permit 10
```

```
match ip address prefix-list test
```

```
N9K2(config-route-map)# match ip address prefix-list test
```

```
N9K2(config-route-map)# set distance 90
```

```
N9K2(config-route-map)# end
```

```
N9K2#
```

ステップ 3 : このルートマップをテーブルマップとしてルーティングプロトコルに適用します。

```
N9K2# configure terminal
```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

```
N9K2(config)# router eigrp 100
```

```
N9K2(config-router)# table-map test
```

```
N9K2(config-router)# end
```

```
N9K2#
```

ステップ 4 : テーブルマップを適用した後、ルーティングテーブルエントリを確認します。

この出力は、テーブルマップを使用して、プレフィックス10.1.1.0/24のアドミニストレーティブディスタンスが90に変更されたことを示しています。その結果、N9K2はOSPF学習パスよりもE1/1経由のEIGRP学習パスを選択します。

```
N9K2# show ip route 10.1.1.0
```

```
IP Route Table for VRF "default"
```

```
'*' denotes best ucast next-hop
```

```
'**' denotes best mcast next-hop
```

```
'[x/y]' denotes [preference/metric]
```

```
'%<string>' in via output denotes VRF <string>
```

```
10.1.1.0/24, ubest/mbest: 1/0
```

```
*via 10.10.10.1, Eth1/1, [90/2562816], 00:00:04, eigrp-100, external, tag 200
```

```
via 10.10.10.6, Eth1/4, [110/1], 01:05:52, ospf-100, type-2, tag 200
```

```
N9K2#
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。